

インフルエンザワクチンには２種類の製剤があり、選択できます

ワクチン種類	不活化ワクチン	生ワクチン	生ワクチン投与上の注意
製剤種類	注射製剤（従来のワクチン）	経鼻噴霧製剤	妊婦、妊娠の可能性のある人は不可 授乳婦は慎重に対応 抗インフルエンザ薬との併用は不可 副腎皮質ホルモン剤、免疫抑制剤を使用している人は不可 接種後１～２週間は、ワクチンによるインフルエンザが発症することがあります。副腎皮質ホルモン剤、免疫抑制剤を使用している人が同居家族などにおられる場合は注意が必要です。 その他の薬剤を服用している方は申し出てください。
予約	不要	必要	
対象年齢	６ヶ月～成人～高齢者	２歳～１８歳	
投与方法	皮下注射	鼻腔内噴霧	
製剤の選択		これまでにインフルエンザワクチン注射で腫れたことがある人は、鼻腔噴霧製剤を選択するという方法があります。	
成分	３価（Ａ型２種、Ｂ型１種）	同左	
接種回数 ＊	１３歳未満は２回 １３歳以上は１回	１回	
公費補助 ＊	あり	あり	
自己負担 ＊	あり	あり 注射製剤より費用負担多い	

＊ インフルエンザワクチン接種への公費補助(住民票のある市町村から)が使える年齢と回数は、市町村により異なり、公費補助額も異なります。そのため自己負担額は市町村により異なります。詳細は受付にお問い合わせください。